殺菌剤
バリダマイシン液剤

バリダシン®液剤５

農林水産省登録　第１７３８６号
（住友化学（株）登録）
性状：緑色澄明液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 非該当
有効年限：５年
包装：５００ｍ × ２０

有効成分：バリダマイシンA・・・・・5.0％

殺菌剤分類　Ｕ１８

バリダシン®は住友化学（株）の登録商標です。

特長

○有効成分バリダマイシンAは病原菌がエネルギー源とするトレハロースの分解酵素（トレハラーゼ）の働きを阻害し、リゾクトニア病害および細菌性病害に効果を示します。
○ユニークな作用機構で、薬剤感受性低下の心配がほとんどなく、他剤に感受性の低下した菌にも効果を示します。
○適用作物への汚れの心配がほとんどありません。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
もも	せん孔細菌病	５００倍	２００～７００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	４回以内	散布	４回以内
かんきつ うめ	かいよう病	５００倍	２００～７００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	４回以内	散布	４回以内
すもも	黒斑病	５００倍	２００～７００ℓ／１０ａ	収穫３日前まで	４回以内	散布	４回以内
稲	紋枯病 疑似紋枯症 （赤色菌核病菌） （褐色菌核病菌） （褐色紋枯病菌） もみ枯細菌病	１０００倍	６０～１５０ℓ／１０ａ	収穫１４日前まで	５回以内	散布	６回以内 （育苗箱灌注は１回以内、本田では５回以内）
	紋枯病	３００倍	２５ℓ／１０ａ				
稲(箱育苗)	苗立枯病 （白絹病菌） （リゾクトニア菌）	１０００倍	育苗箱 （３０×６０×３cm、使用土壌約５ℓ）１箱当り希釈液 ５００mℓ	は種時～発病初期	１回	灌注	６回以内 （育苗箱灌注は１回以内、本田では５回以内）
ばれいしょ	黒あざ病	２００倍	―	貯蔵前又は植付前	１回	瞬時～１０分間種いも浸漬	７回以内 （種いもへの処理は１回以内、植付後は６回以内）
			種いも１００kg当り２.５～３ℓ			種いも散布	
		１０倍	種いも１００kg当り２００～３００mℓ	植付前			
	青枯病 軟腐病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫３日前まで	６回以内	散布	
きゅうり	苗立枯病 （リゾクトニア菌）	８００倍	３ℓ／m^2	は種直後	１回	灌注	１回
キャベツ	株腐病 黒腐病 軟腐病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	５回以内	散布	５回以内
ブロッコリー	黒腐病 軟腐病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫前日まで	３回以内	散布	３回以内
はくさい	軟腐病 黒斑細菌病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫3日前まで	３回以内	散布	３回以内
だいこん	軟腐病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	４回以内	散布	４回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	腐敗病 軟腐病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫３日前まで	５回以内	散布	５回以内
レタス 非結球レタス	すそ枯病 腐敗病 軟腐病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫前日まで	３回以内	散布	３回以内
未成熟とうもろこし	紋枯病	１０００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	散布	３回以内
しょうが	紋枯病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫１４日前まで	４回以内	散布	４回以内
みつば	立枯病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	育苗期	１回	散布	４回以内 （育苗期は１回以内、移植後は３回以内）
				移植後 但し 収穫７日前まで、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで	３回以内		
にんにく	春腐病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫３日前まで	５回以内	散布	５回以内
ふき	白絹病	８００倍	３ℓ／m^2	収穫７日前まで	５回以内	灌注	５回以内 （種茎浸漬は１回以内）
			―	植付時	１回	３０分間種茎浸漬	
ふき（ふきのとう）	白絹病	８００倍	―	植付時	１回	３０分間種茎浸漬	６回以内 （種茎浸漬は１回以内、灌注は５回以内）
			３ℓ／m^2	収穫３０日前まで	５回以内	灌注	
にら	葉腐病 白絹病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	刈揃え前まで	３回以内	散布	３回以内
てんさい	苗立枯病 （リゾクトニア菌）	４００倍	３～６ℓ／m^2	育苗中期	１回	灌注	１回
だいず えだまめ	葉焼病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫７日前まで	３回以内	散布	３回以内
ねぎ	苗立枯病 （リゾクトニア菌）	４００倍	６ℓ／m^2	は種時	１回	灌注	３回以内 （は種時の灌注は１回以内、散布及び株元散布は合計２回以内）
	軟腐病	５００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	収穫前日まで	２回以内	散布	
	白絹病					株元散布	
はぼたん	黒腐病	８００倍	１００～３００ℓ／１０ａ	発病初期	８回以内	散布	８回以内
西洋芝 （ベントグラス）	葉腐病 （ブラウンパッチ）	１０００倍	１ℓ／m^2	発病初期	８回以内	散布	８回以内
		５００倍	０.５～１ℓ／m^2				
日本芝	葉腐病 （ラージパッチ）	５００倍	０.５～１ℓ／m^2	発病初期	８回以内	散布	８回以内

使用上の注意事項

●ボルドー液との混用は避けてください。
●稲の苗立枯病に使用する場合、白絹病菌、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが、その他の菌による苗立枯病には効果が劣るので注意してください。
●ばれいしょの青枯病に使用する場合、本病の多発するほ場では、登録のある土壌くん蒸剤等との併用処理をしてください。
●ばれいしょの軟腐病に対しては効果が劣る場合があるので、他剤と輪番使用をするとより有効です。
●うめ、かんきつのかいよう病に対しては効果がやや劣る場合があるので、他剤と輪番使用をするとより有効です。
●レタス、非結球レタスに使用する場合、すそ枯病の防除を主体とし、多発生の腐敗病には効果が劣ることがあるので注意してください。
●だいこんの軟腐病が多発するような条件では本剤はやや効果が劣る場合があるので、なるべく早めの散布をし、他剤との輪番使用をするとより有効です。
●ばれいしょの種いもに使用する場合は下記の注意を守ってください。
　○切断した種いもを処理する場合、切断面が乾いた後に行ってください。
　○種いも散布の場合は、種いもを床などに拡げ、全体が均一にぬれるよう散布してください。
　○処理した種いもはよく風乾してから植付けてください。

●ふきに使用する場合は、種茎浸漬処理と植付後の灌注を組合わせて使用してください。
●本田の水稲に対して希釈倍数３００倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
●トマト、きく（秀芳の力等）には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

●本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
●使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
●公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域内に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
●処理した種いもは食料や動物飼料として用いないでください。

水産動植物に係る注意事項

●浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

●直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。